

# あさひ 宝ものさがし!

ヒスイ海岸編



森と海がつながる  
自然のめぐみに感謝して、  
漁村の豊かな暮らしの文化と  
ヒスイロマンを体感♪  
ふるさとの宝ものである、  
地域的魅力、誇りにふれましょう。

あさひふるさと体験推進協議会  
<http://asahi-marugototaliken.jp>

漁村文化を体感！

てくてく散策モデルコース



## ヒスイ海岸で出逢える 宝ものたち

----- ヒスイの特徴 -----  
ヒスイは、傷つきにくさを表す「硬度」は、6.5～7と宝石鉱物の中では低いですが、割れにくさを表す「韌性」はダイヤモンドより優れ、壊れにくく堅いため、細工加工が出来る宝石です。

**鑑定士さんとヒスイ探し** !

- 1 波打ち際の濡れた石のあたりが見つけやすいよ!
- 2 白くてキラキラ透明感のある角ばった重たい石を探そう!
- 3 これだ!という石をひろったら、鑑定士さんに見てもらおう♪
- 4 出逢えた宝ものは、無くさないようにちゃんとしまおうね。

## 朝日町のヒスイ文化

日本の海岸でヒスイの原石がひろえるのは、ヒスイ海岸と糸魚川のごく限られた地域で、海岸で安全に楽しくヒスイがひろえる海岸として、世界でも珍しい場所です。

ヒスイは、緑、紫、青、白、黒などの多彩な色があります。縄文時代から古墳時代にかけては、緑色のヒスイが「若草」つまり命を象徴する石として、大切に崇められていました。朝日町の海岸線沿いには、ヒスイを使った装飾品をつくる工房遺跡がたくさん見つかっており、朝日町が日本のヒスイ文化の中心であったことがわかっています。

特に、約1,500年前の古墳時代の「浜山玉つくり遺跡」からは、ヒスイのまが玉や管玉の原石、加工のための工具類が見つかっています。それまでは、ヒスイ製品は、中国から輸入していたと考えられていたのですが、この遺跡の発見により、国内産のヒスイ加工技術が日本で最初に明らかとなりました。これを機に、宮崎・境海岸が、「ヒスイ海岸」と名付けられました。



竹製のキリと砂の摩擦で、縄文時代と同じように、石に穴を開けます。自分だけのお守りをつくりましょう♪

## 番外編

おもしろい石を探そう！  
ヒスイ海岸の  
小石たち

ダイヤ以外ならなんでも！  
宝ものがひそんでいます…。

とうれんせき  
桃簾石  
(チューライト)

ピンクヒスイ！

さざれ石

石英

「君が代」に  
登場するよ

無色透明なものは  
水晶なんだって☆



ネフライト  
(軟玉)

じゃもんがん  
蛇紋岩

キツネに  
化かされたー(>\_<)

メノウ

お風呂で  
ぽかぽか～

薬石

